



滑川市 津波ハザードマップ

令和7年
3月改訂版

【津波ハザードマップ見直しの経緯】（津波浸水予測図＜海拔表示入り＞）

富山県が平成29年2月に公表した津波シミュレーション調査の結果に基づき、平成30年3月に「滑川市津波ハザードマップ」を作成し配布しました。

令和6年能登半島地震の際の様々な課題（想定外の避難行動、避難手段）やハザードマップが見ずらいとのご指摘に対応するため、今回、地図の拡大表示や、最新の防災情報の追加掲載等の見直しを行いました。お住まいの地域が、津波浸水想定エリアに該当するのかどうかをまずは確認し、災害（津波）時に慌てずに避難行動できるよう平時から備えましょう！

【対象断層と前提条件】

- ①津波のシミュレーションは糸魚川沖、富山湾西側、呉羽山断層帯の3つの断層を対象に実施
- ②呉羽山断層帯での「最大クラス」の地震(M7.4)が発生し、堤防等が沈下・破壊された「最悪の条件下」のもと、最大級の津波(6.8m)の襲来を想定して浸水予測図を作成しました。



【断層の活動間隔】

3000年～5000年に1度程度

【参考】 東日本大震災 … 600年に1度程度

【滑川市で想定される最大の津波】

最高津波水位	3.1m～6.8m (呉羽山断層帯)
津波到達時間	3分～16分
津波継続時間	大きな津波は第1波のみ
浸水想定区域	1.2km ²
地震の種類	断層型地震

【参考】 東日本大震災 (M9.0)

最高津波水位	40.1m
津波継続時間	大きな津波が12時間以上継続
地震の種類	海溝型地震

でも、3分で津波が到達することもあるから、急いで逃げよう。

東日本大震災とはちがって、滑川市での大きい津波は第1波だけなんだね。



▼津波の特徴

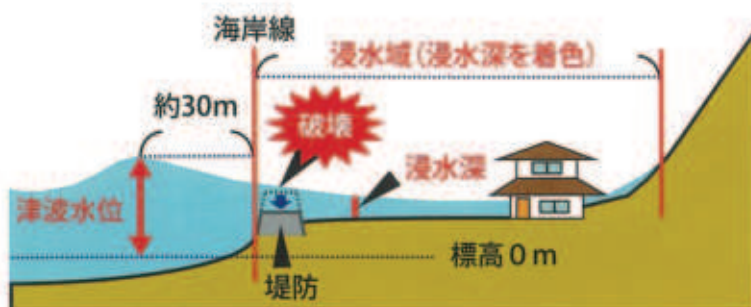
滑川市(断層型)の場合

大きい津波(最大6.8m)は第1波のみ



東日本大震災(海溝型)の場合

巨大津波(最大40.1m)が12時間以上継続





津波からの避難のしかた

津波浸水想定区域内ににいるときに、地震による強い揺れを感じたら、まずは身の安全を確保し、すぐに避難を始めよう。

地震発生!
1分後

災害発生中
2分後

津波到達
3分後〜

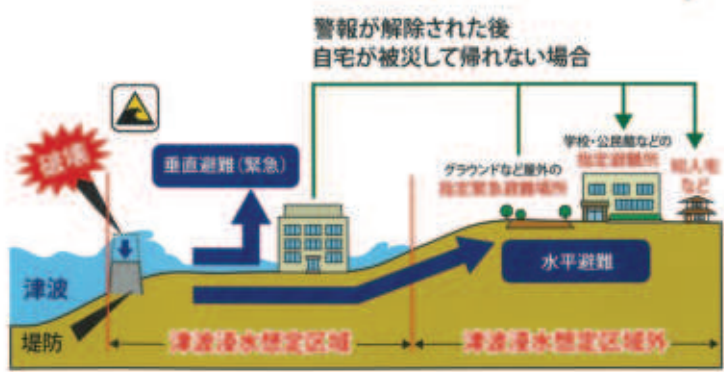
身の安全を確保する。

すぐに避難する!

- ・近頃の高い建物や自宅の2階以上へ避難（**垂直避難**）
- ・逃げる時間があるときは、山側・線路側へ向かって、津波浸水想定区域の外へ逃げる（**水平避難**）

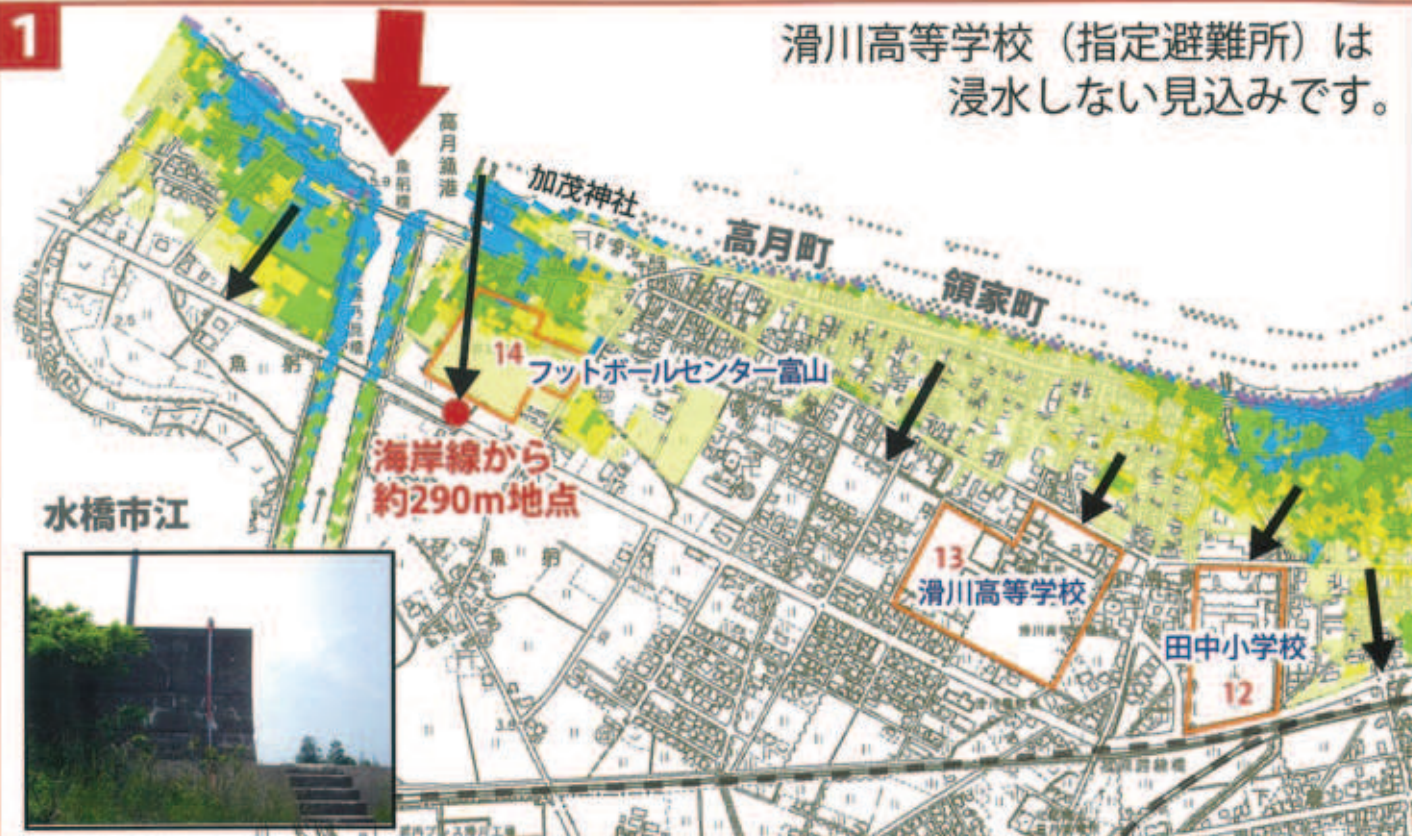
津波浸水想定区域内にいる場合

※津波は**最短3分**で海岸に到達する可能性があります!



1

滑川高等学校（指定避難所）は
浸水しない見込みです。



海岸保全施設（堤防）の高さ

4.3 ～ 6.8 m 【魚野～領家町】



津波の向き



避難方向

2

田中小学校（指定避難所）、中滑川複合施設「メリカ」（指定避難所）は
浸水しない見込みです。



海岸保全施設（堤防）の高さ

4.3 ～ 6.8 m 【領家町～常盤町】（中川河口付近一部 3.5 m）

3 寺家小学校(指定避難所)、
滑川市民交流プラザ(指定避難所)は
浸水しない見込みです。

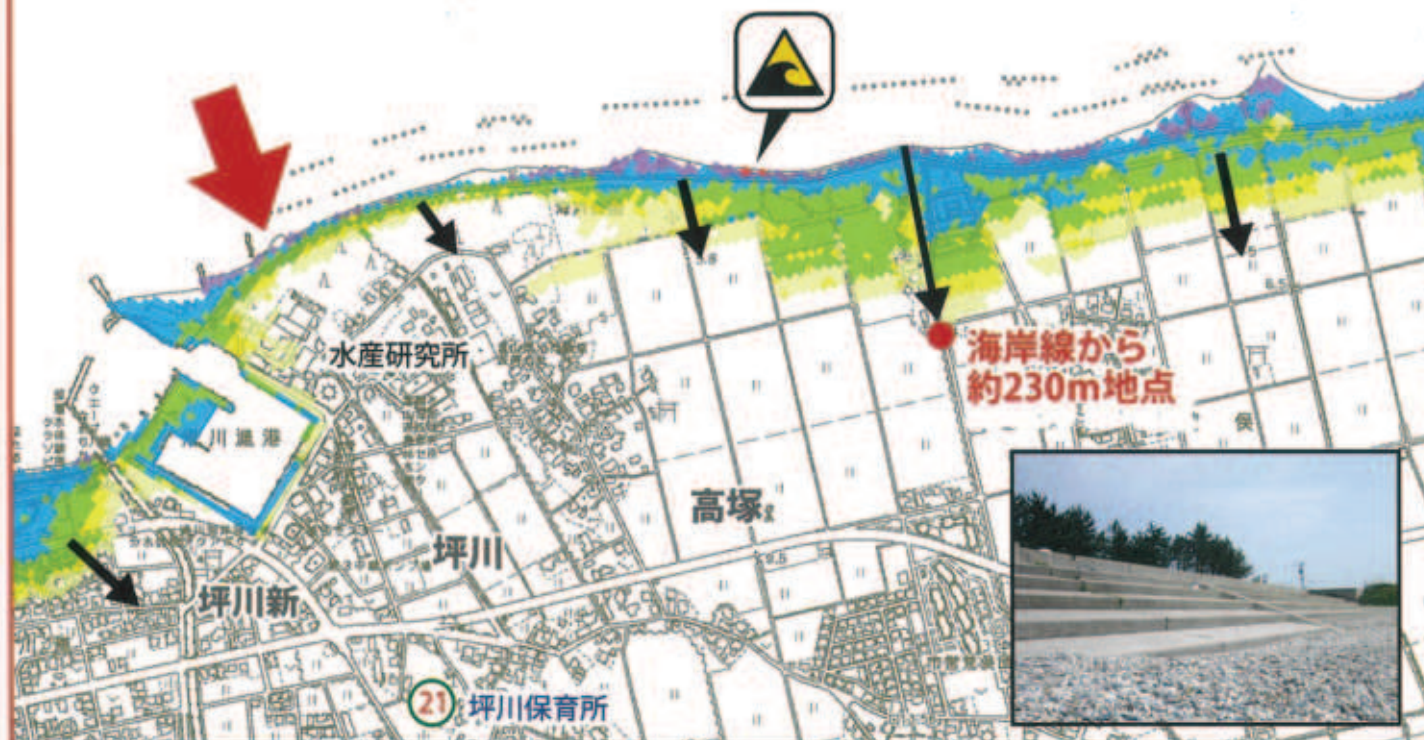


海岸保全施設(堤防)の高さ

4.5 ~ 4.7 m 【常盤町～滑川漁港】

➡ 津波の向き ➡ 避難方向

4 坪川保育所(指定避難所)は浸水しない見込みです。



海岸保全施設(堤防)の高さ

5.5 m 【滑川漁港～浜四ツ屋】

5 浜四ツ屋公民館、笠木公民館は浸水しない見込みです。



海岸保全施設（堤防）の高さ

5.5 m 【浜四ツ屋～吉浦】

➡ 津波の向き ➡ 避難方向

6 吉浦公民館、三ヶ公民館は浸水しない見込みです。



海岸保全施設（堤防）の高さ

5.5 m 【吉浦～早月川河口】

津波ハザードマップの見方

浸水が想定される場所(津波浸水想定区域)に想定される浸水の深さに応じて色付けされています。津波のおそれがあるときは、津波浸水想定区域(赤く囲った区域)から黒い矢印の方向(山側、線路側)に向かって避難します。

逃げる時間がない場合は、近くの高い建物や自宅の2階以上へ避難してください。

津波ハザードマップの拡大図(一部)



※津波ハザードマップは想定される最大クラスの津波6.8mを元に作成しています。

津波浸水深と被害の目安

	高さの目安	被害の目安
	5.0m 2階の軒下まで浸かる深さ	2.0m以上 木造住宅が全面破壊
	2.0m 1階の軒下まで浸かる深さ	1.0m以上 木造住宅が部分破壊
	1.0m 胸まで浸かる深さ	70cm以上 死亡率が高くなる
	50cm ひざまで浸かる深さ	

地震・津波災害時の避難行動

地震が発生したときは、まず身の安全を確保しましょう!

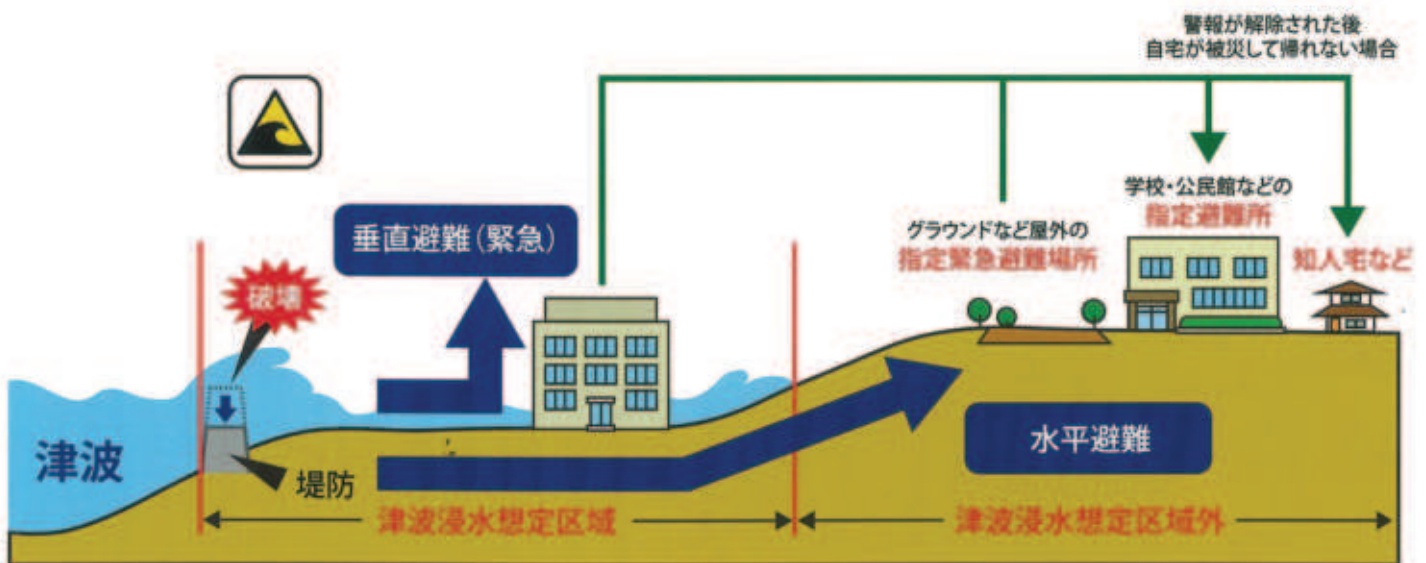
津波浸水想定区域内にいるとき



提供: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

- 強い揺れや長い揺れを感じたら、**自らの判断で迅速に避難行動を!**
揺れを感じなくても、津波注意報・津波警報・大津波警報が発表されたら、**迅速に避難行動を!**
- 最短3分で津波が海岸に到達する可能性があるため、緊急時は、近くのできるだけ高い建物や自宅の2階以上へ避難する「**垂直避難**」をし、逃げる時間があるときは、**山側・線路側へ向かって、徒歩で避難する「水平避難」**を!
- 津波注意報・津波警報・大津波警報が解除されるまでは、**絶対に海に近づかない!**

自助



津波浸水想定区域外にいるとき

自宅や周辺が安全であれば「在宅避難」

- すばやく火の始末(ガスの元栓・コンセント)
- 非常脱出口の確保(ドア・窓を開ける)

地震発生 1~2分 【揺れがおさまったら】

- 火元を確認(火が出たら、落ち着いて初期消火)
- 家族の安全を確認
- 靴を履く(家の中はガラスの破片が散乱)
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機に注意

地震発生 3分 【みんなの無事を確認・火災の発生を防ぐ】

- 漏電・ガス漏れに注意(ガスの元栓・電気のブレーカーを切る)
- 消火器を使う
- バケツリレーを行う(風呂の水は溜め置きにする)

出火防止・初期消火

地震発生 5分 【ラジオなどで正しい情報を】

- 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか
- 救出・救護を
- けが人はいないか
- 大声で知らせる
- 防災機関・自主防災組織の情報を確認
- デマに惑わされないように
- 避難時に車は絶対に使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する

隣近所に声をかけよう

地震発生 10分▶数時間▶3日

- 水・食糧は蓄えているもので賄う(3日分の飲料水と食糧を備蓄しておく【右記参照】)
- 災害情報・被害情報の収集
- 無理はやめよう
- 助け合いの心が大切
- 壊れた家に入らない

自助・共助

情報の伝達・入手経路

津波警報・大津波警報や避難情報などは、次のような経路で伝達されたり、入手することができます。



津波報・注意報の種類

分類	津波の高さの表現	想定される津波のリスク
大津波警報	10m超（10m～）	巨大な津波が襲い壊滅的な被害が生じる。
	10m（5～10m）	巨大な津波が襲い甚大な被害が生じる。
	5m（3～5m）	津波が襲い甚大な被害が生じる。 木造家屋が全壊・流出し、人は津波に巻き込まれる。
津波警報	3m（1～3m）	標高の低いところでは津波が襲い被害が生じる。 浸水被害が発生し、人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m（0.2～1m）	海の中や海岸付近では津波による被害が生じる。 海の中にいると早い流れに巻き込まれ、小型船舶の転覆などが生じる。

情報の入手先

市内の災害情報

- 滑川市ホームページ
<https://www.city.namerikawa.toyama.jp>



- メール配信サービス
<https://plus.sugumail.com/usr/namerikawa/home>



滑川市公式SNS

- 滑川市LINE公式アカウント
<https://lin.ee/sPrJJZwC>
- 滑川市公式X(旧Twitter)
https://x.com/namerikawa_city
- Yahoo!防災速報(アプリ)
<https://emg.yahoo.co.jp/>



県内の災害情報

- 富山防災WEB
<https://preftoyama.secure.force.com/bousai2>



- Uni-Voice Blindアプリ
(耳で聴くハザードマップ)
<https://www.uni-voice.co.jp/uni-voiceアプリ>



津波・気象情報

- 気象庁
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 富山地方気象台
<https://www.jma-net.go.jp/toyama/>



市指定避難所一覧表

No.	市指定避難所の名称	海拔(m)	No.	市指定避難所の名称	海拔(m)
1	寺家小学校	3	24	早月中学校	32
2	滑川市民会館大ホール	3	25	北加積小学校	46
3	滑川東地区公民館	6	26	滑川市農村研修センター	34
4	地域交流センター「青志会館」	6	27	北加積コミュニティ防災センター (北加積地区公民館)	44
5	滑川市総合体育センター	16	28	幼保連携型きたかづみ認定こども園	44
6	サン・アビリティーズ滑川	16	29	滑川市農村環境改善センター	34
7	滑川市立図書館	6	30	東加積小学校	104
8	滑川市民交流プラザ(3階・4階部分)	7	31	東加積コミュニティセンター (東加積地区公民館)	111
9	同朋幼稚園	4	32	みのわ健康休養施設(みのわ温泉)	189
10	同朋保育園	4	33	南部小学校	22
11	滑川コミュニティ防災センター	5	34	中加積地区公民館	18
12	田中小学校	2	35	中加積保育園	21
13	滑川高等学校	2	36	童和保育園	11
14	フットボールセンター富山	1	37	西部小学校	11
15	認定こども園たかつき保育園	2	38	滑川中学校	6
16	滑川市民健康センター	4	39	西加積地区公民館	9
17	働く婦人の家	4	40	滑川市社会福祉センター	11
18	西地区コミュニティホール (滑川西地区公民館)	2	41	認定こども園上小泉保育園	10
19	希望幼稚園	6	42	児童館	8
20	浜加積地区公民館	20	43	山加積コミュニティセンター (山加積地区公民館)	22
21	坪川保育所	6	44	中滑川複合施設「メリカ」(3階部分)	4
22	東部小学校	33			
23	早月加積地区公民館	40			

- ※「津波」のとき …… **No.14**(フットボールセンター富山)は、2階以上に避難してください。
- 「地震」のとき …… **No.9** (同朋幼稚園)は、避難対象**外**です。
- 「洪水」のとき …… **No.2・14・15・18・32・36** は、避難対象**外**です。
No.1・4・12・13・16・17 は、2階以上に避難してください。
- 「土砂災害」のとき …… **No.32**(みのわ健康休養施設(みのわ温泉))は、避難対象**外**です。
- 「高潮」のとき …… すべて避難対象です。

災害発生時にインターネットで指定避難所の開設・混雑状況を確認できます。

(株)バカンの避難所開設情報等配信サービス「VACAN(バカン)」
 避難所の位置が地図で表示されますので、平時から確認してみましょう。
<https://vacan.com/area/namerikawa-city-evacuation/evacuation-center/12>



備蓄品・非常持出品リスト (主なもの)

- 自宅やその周辺が安全な場合の「在宅避難」等に備え、**最低3日分を目安**に各家庭で食料品等を備蓄しましょう。
- 万が一の避難に備え、非常持出品をリュック等に入れておきましょう。
- 備蓄品等は、賞味期限等を定期的に点検・確認しましょう。



✓ 備 蓄 品

- ☐食 品 レトルト食品、アルファ米、缶詰など
- ☐飲 料 水 1人1日3L目安
- ☐生活用水 風呂の残り湯
- ☐燃 料 卓上コンロ、
固形燃料、
ガスボンベ
- ☐救急用品 救急箱「ガーゼ、包帯、脱脂綿、ばんそうこう、体温計、常備薬等」、
マスク、生理用品、ゴム手袋、消毒用アルコールなど
- ☐防災用品 ヘルメット、軍手、懐中電灯、笛、携帯ラジオ、カイロ、
予備電池、救命胴衣(ライフジャケット)、携帯用トイレなど
- ☐衣 料 品 暖かい衣服、下着、タオル、ハンカチ、雨具など
- ☐火 気 ろうそく、ライター、マッチなど



✓ 非常持出品

- ☐非 常 食 カンパン、缶詰など
- ☐飲 料 水 500mL 2～3本
- ☐貴 重 品 現金、預金通帳、印鑑など
- ☐情報機器 スマホ、モバイルバッテリー
- ☐身分証明書 運転免許証、個人番号カードなど
- ☐要支援者用品 粉ミルク、ほ乳瓶、紙おむつなど



普段からの備え ローリングストック

災害が発生すると、物流が混乱するため、お店の商品が品切れになり、手に入らなくなることが想定されます。普段から食料を少し多めに買って置き、古いものから消費して、消費した分を買い足す「ローリングストック」で、無理なく備蓄しておきましょう。

また、トイレットペーパーや乾電池などの日用品や、ガソリン・灯油などの燃料なども災害が起きてからでは手に入りにくくなります。

普段から、少し多めに買って置き、無理のない範囲で備蓄しておきましょう。

ローリングストック

普段から少し多めに食料や加工品を買い備蓄しておく。



津波に備える5つのポイント

「津波浸水想定区域の中の方」は、必ず読んでください！

①地震や津波が起きたらどうなるのか、想像してみよう

地震はいつ起こるかわかりません。深夜に地震が発生し、停電で真っ暗な中、家から脱出できるのか考えてみよう。特に沿岸部では、地震発生後に、最短3分で津波が海岸に到達する可能性があります。発災時に自分がどう行動できるのか、具体的に想像してみよう。

②いざという時のために、家族で話し合っておこう

津波が起きたとき、どの道を通って、どこに避難し、どのように連絡を取り合うのか、事前に家族で話し合っておきましょう。また、指定緊急避難場所や指定避難所の位置、そこに到達するためのルートを複数確保し、家族で共通認識をもっておきましょう。



③避難に備えて非常持出品を準備しておこう

避難の際にすぐに持ち出せるように、非常持出品をリュックなどにまとめておきましょう。また、小さなお子さんや高齢者に必要もの（やわらかい食事、紙おむつ等）や持病の薬など、すぐには手に入らないものは、極力持ち出せるようにしておきましょう。



④自宅の耐震化や家具類の転倒防止などの地震対策をしておこう

地震により自宅が倒壊する場合があります。自宅の耐震性を確認し、地震に備えておこう。また、丈夫な家であっても地震の揺れにより、家具や家電が倒れて通路や扉がふさがれたり、倒れたものの下敷きになってしまうと、避難が難しくなります。背の高い家具や家電などは、事前に転倒防止対策をしておきましょう。



⑤地域の防災訓練や行事などに参加しよう

平時から地域の防災訓練に参加し、避難先や避難にかかる時間を確認しておきましょう。また、いざというときに地域や近隣の方と協力し助け合えるように、地域の行事に参加するなどして、日頃から地域や近隣の方とコミュニケーションをとっておきましょう。

災害ハザードマップは、インターネットでも確認できます。

●滑川市ハザードマップ（市HP）

https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/bousaikikikanri/2_1/2/index.html



●なめりかわデジタルマップ

<https://www2.wagmap.jp/namerikawacity/>



発行・お問合せ先
滑川市防災危機管理課
TEL:076-475-0573

平成30年3月 発行
令和3年11月 一部修正
令和5年3月 一部修正
令和7年3月 一部修正